

花見酒

町田酒造店 町田 東美

【町田東美】

群馬初の女性の杜氏。杜氏(とうじ)とはお酒の製造責任者のこと。東美さんの造る「清涼大吟醸」は今年の全国新酒鑑評会で金賞を受賞しました。

町田酒造店

前橋市駒形町65 TEL.027-266-0052

http://www.seiryo-sake.co.jp/

4月といえば私の大好きな桜の季節。ところが、今年は暖冬で開花が早まりましたね。しかも、2週間くらいで散ってしまっし。なんて短いのでしょ...

桜が終わってしまったのもつじがあまりですが、しっかりと桜を満喫するには、やっぱりお花見に行きましょう。お弁当とお酒をもって。でも、実は日本酒を持ってお花見なんてあまり行った事がないんです。〇〇をしてみたときに会社で行った時くらいかな。日本酒でお花見って、なんだかオヤジみたいな気がするけど、綺麗に品良く飲めば、逆にカッコいいかも知れませんよ。

お花見は日本固有の文化だと言われているそうです。日本のお花見の特徴は「群桜・飲食・群集」の三要素にあるとし、欧米、アジア、アフリカなど他の地域にはお花見はないという事です。お花を観賞する事はあっても、みんなが集まって、食べたり飲みながら、たくさんのお花を見まわらないのだからです。

こんなときを持っていくお酒は、ワンカップが便利ですよ。キヤップをとればすぐに飲めます。ワンカップは180ml入っています。途中で飽きてきたら、サイダーを混ぜてカクテルにしてもおいしいですよ。最初は邪道かとも思っただけ、結構おいしいかったです。他のミネラルと柑橘系とかもいいですね。カクテルにする場合は冷えたものを混ぜてくださいね。

お弁当は何にしようかしら？今はダイエット中なので、カロリー控えめな酢の物、キノコの炒め物がいいかな。

最後に「公共の場での飲酒マナー」には気をつけましょう。おと、健康とダイエットのために飲むお酒は、食べパオキには「注意」を。おと、ダイエットは私だけでした(笑)

尾瀬コラム

尾瀬の地名の由来

尾瀬林業株式会社 群馬支社 (担当永井)

天上の楽園といわれた「尾瀬」。その尾瀬では、鳩待峠、牛首、竜宮、ヨツビ川とヨツビ吊橋、アマメ平といった変わった地名があり、それには由来があります。そこで今月のコラムは、地名の由来についてお話ししたいと思います。

まず、鳩待峠ですが、なぜ鳩を待つ峠かという、男たちが厳冬に入山して木工品を作っていました。春が近づき帰宅できる頃になると、鳩が峠近くまで上がってきて、その鳴き声が、「帰ってこい、帰ってこい」と聞こえ、鳩が来るのを待ち続けていたことから鳩待峠という名前がついたといわれています。牛首とは、尾瀬ヶ原に入り2kmほど進んだところに存在する尾根を見た感じが牛の首のようだというのでこの名前が付いたといわれています。

竜宮とは、長沢の水がそっくり穴の中に流れ込んでいるのを見て驚き、この穴は竜宮まで通じているだろうというので、竜宮という名が付いたといわれています。

ヨツビとは、アイヌ語の転訛したもので川が集積している所をヨツビと言います。尾瀬ヶ原で唯一の吊橋が「ヨツビ吊橋」です。

アマメ平は、山稜に発達した湿原です(標高1960m)。山頂の楽園と呼ばれる大湿原にはアマメは日本もなく、その昔、旅人が湿原に群生するキノコウカの葉をアマメの葉と見間違え、名が付いた。ヨツビ川で。

以上のヨツビに地名の由来を考えながら尾瀬を探勝するのも面白いのではないでしょらうか？

